



「頑張れ、川島慶三選手(ソフトバンクホークス)！」

校長 内山 茂



7月3日(金)の長崎新聞に、「タカ底力、逆転サヨナラ」という見出しで本校卒業生川島慶三選手の写真が大きく掲載されていた。前夜の西武ライオンズ戦で、ホークスが最終回に2点差を逆転して勝利を収め、その立役者となった川島選手が笑顔でホームインした姿を捉えていた。

川島選手は、平成13年機械科の卒業生で、体は小柄だが俊足・強肩のパワーヒッターとして活躍した。在学中、甲子園出場は果たせなかったが、「佐実に川島あり」とその名を轟かせていたと聞いている。本校卒業後は、大学に進学して九州六大学リーグで首位打者・本塁打王などに輝いた。平成17年に日本ハムファイターズに入団し、その後、ヤクルトスワローズを経て、昨年、ソフトバンクホークスに移籍している。現在、ホークスの二塁手として活躍し、その躍進に「欠かせない存在」となっている。

先日、当時の野球部監督・井上慶希先生に彼の高校時代を聞いたところ、「もともと身体能力は群を抜いていた。毎日、朝は6時から夜は10時頃まで練習に励む等、努力に努力を積み重ねていた。また、人間的にも真面目で、相手の心に通じるあいさつができる等、他の生徒の模範であった」とのことである。

本校には、こうした誇るべき先輩がいる。頑張れ、川島慶三選手！頑張ろう、佐実生！

創立50周年の進捗状況

今年度本校は、創立50周年を迎え、11月7日(土)記念式典が挙行されます。現在、実行委員会や校内準備委員会を開き、当日に向けての準備が進められているところです。50周年記念行事をとおして、本校生としての自覚・誇り等の意識向上を大いに期待します。主な記念行事は次のとおりです。

- (1) 記念式典及び記念講演
 - 記念式典 11月7日(土)本校体育館(10時開会)
 - 記念講演 11月7日(土)本校体育館(11時15分開演)
「わが野球人生」～佐実から巨人へ～ 村田善則氏(読売巨人軍)
- (2) 部室の建設 翔ばたけ未来へ 輝け佐実!
- (3) 記念誌の発刊
- (4) 部活動バスの購入
- (5) 記念体育祭(10/11)
- (6) 記念文化祭(11/8)



各学年部長のメッセージ

第1学年部長 尾形 知恵美先生

有意義な夏休みが送られているのでしょうか。前期前半の生活や学習を振り返り、苦手教科の克服はもとより、夏季の課題等、毎日の努力の積み重ねが実を結ぶことを信じて、学習習慣の確立をさせてください。

第2学年部長 中濱 儀博先生

皆さん、待望の夏休みになりました。この夏休みに皆さんが大きく成長してくれると思っています。部活動、学習などにしっかり取り組んでください。

暑い夏ですが、自分に厳しく、しっかり鍛えましょう。夏休み明けの大きくなった皆さんと会えるのを楽しみにしています。

第3学年部長 川淵 光弘先生

今年度の就職試験はかなり厳しいものだということを、昨年から生徒達には何回も説明し、奮起・努力を呼びかけました。3学年次の欠席数・欠点者数共に減少し、早期に進路活動に取り組む生徒が増えました。現在も進路に対して真剣に考え生徒達は、先生方・進路指導室に相談に行く姿が数多く見られます。生徒全員の早期進路決定を目指し、面接指導を重点に学習の強化指導を図ります。

3年生「就職・進学合宿」を開催ー意識高まる！

3年生は7月23日(木)から28日(火)までの4日間、外部講師等を招いて、「就職・進学合宿」を開催しました。

この期間、「進路対策の学力の定着」・「試験対応の面接・作文指導」・「社会人としてのマナー・エチケット」等の研修を行いました。社会人としての必要なスキルを身に付けるための実践指導です。

1・2年生は、各教科の夏期課題に取り組むなど家庭学習を習慣化し、学力の向上に努めてください。

また、進路指導部では、関東・中京・関西・中国・九州・県内・市内地区の企業訪問を行いました。雇用延長の実施や為替レートの動きなど、様々な経済状況のなか、東京オリンピック効果など景気上昇の動きもありました。訪問先の人事担当者からは、採用条件として以下のようなことがポイントのようです。

- 1 欠席をしない生徒(特別な理由を除く)
- 2 元気ある挨拶ができ、コミュニケーション能力が身につけている生徒
- 3 前向きに仕事に取り組み、長く続ける覚悟のある生徒

「佐実タイム」～土曜日登校でキャリア教育資格取得を目指す！

本校は、4つの学科の特長を活かした「佐実タイム」に取り組んでいます。それは、生涯を通して、仕事やキャリアアップに役に立つことを目標にしています。具体的には、月に一度、土曜日に登校し、資格取得や検定対策、就職試験対策などを行います。

また、今年度は、さらなる進路意識の向上を目指し、これまでの「進路ガイダンス」に加え、外部講師による進路講話等も予定しています。さらに、各科の団結力を高めることを目的に、学年の隔たりをなくした資格取得の取り組みも行います。

この月に一度の「佐実タイム」を将来の目的や進路実現に向けて高い意識を持ち、休むことなく有効活用して、自分の進路実現につないでほしいと思います。